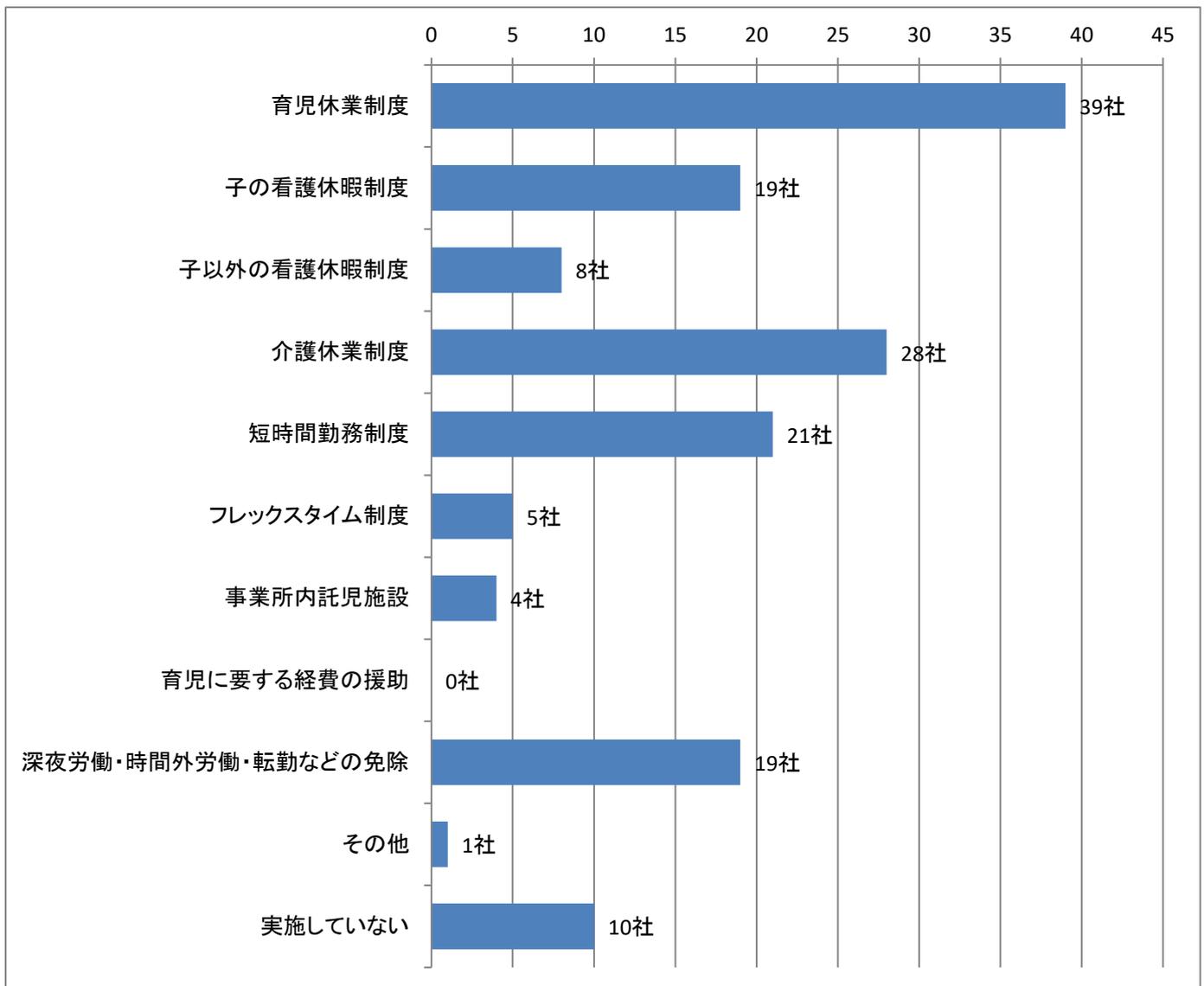


仕事と育児・介護との両立支援制度について

問9. 仕事と育児・介護との両立のために実施している制度について



仕事と育児・介護との両立のために実施している制度については、「育児休業制度」が39社。次いで「介護休業制度」が28社、「短時間勤務制度」が21社となっています。

その他の意見

- ・時間帯変更勤務/複数人での業務担当制/夫婦の転勤先を配慮/週2日ノー残業デー/男性社員の育児休業・休暇取得の促進

問9-1. 従業員の育児休業取得者数・取得率について(過去5年間:平成23年度~平成27年度)

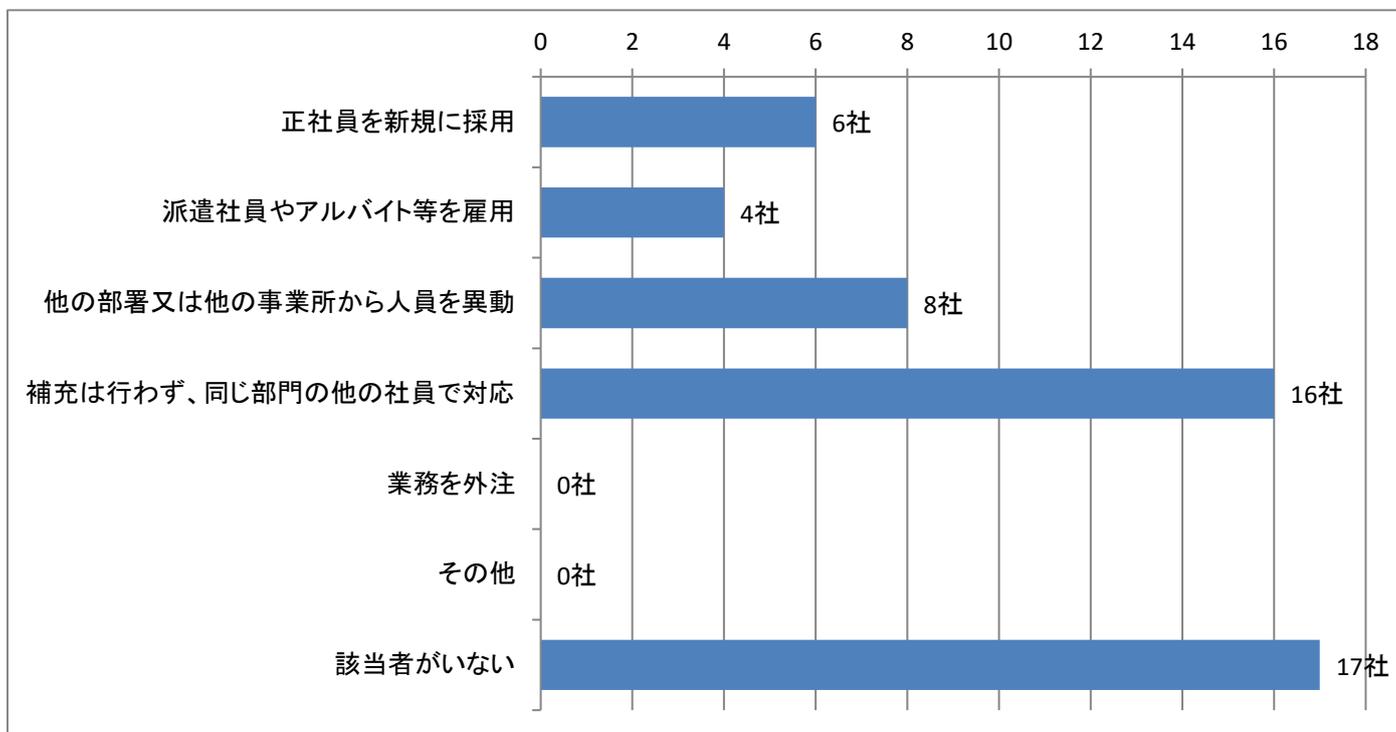
| 過去5年間 | 妊娠・出産した人数 | 左記のうち 育児休業取得者数 | 育児休業取得率 |
|---------|-----------|-------------------|---------|
| 女性(延人数) | 288人 | 288人 | 100.0% |

| 過去5年間 | 配偶者が妊娠・出産した人数 | 左記のうち 育児休業取得者数 | 育児休業取得率 |
|---------|---------------|-------------------|---------|
| 男性(延人数) | 437人 | 6人 | 1.4% |

問9-2. 従業員の介護休業取得者数

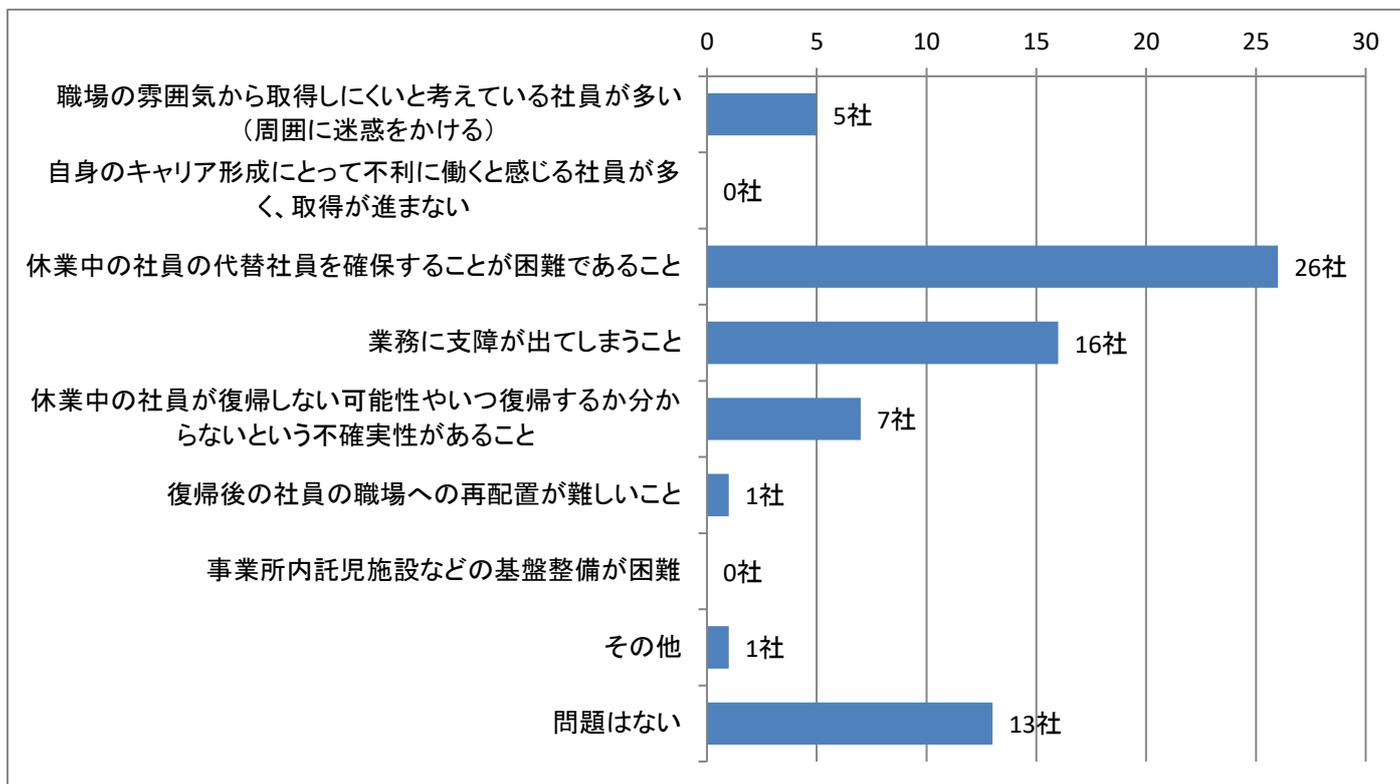
| 過去5年間 | 男性 | 女性 |
|-------|----|----|
| 延人数 | 2人 | 7人 |

問10. 社員が育児休業取得時の対応



社員が育児休業を取得する際の対応について、最も多いのは「補充は行わず、同じ部門も他の社員で対応」が16社。次いで「他の部署又は他の事業所から人員を異動」が8社、「正社員を新規に採用」が6社となっています。また、「該当者がいない」という回答も17社ありました。

問 1 1. 従業員の育児・介護休業に関する問題点

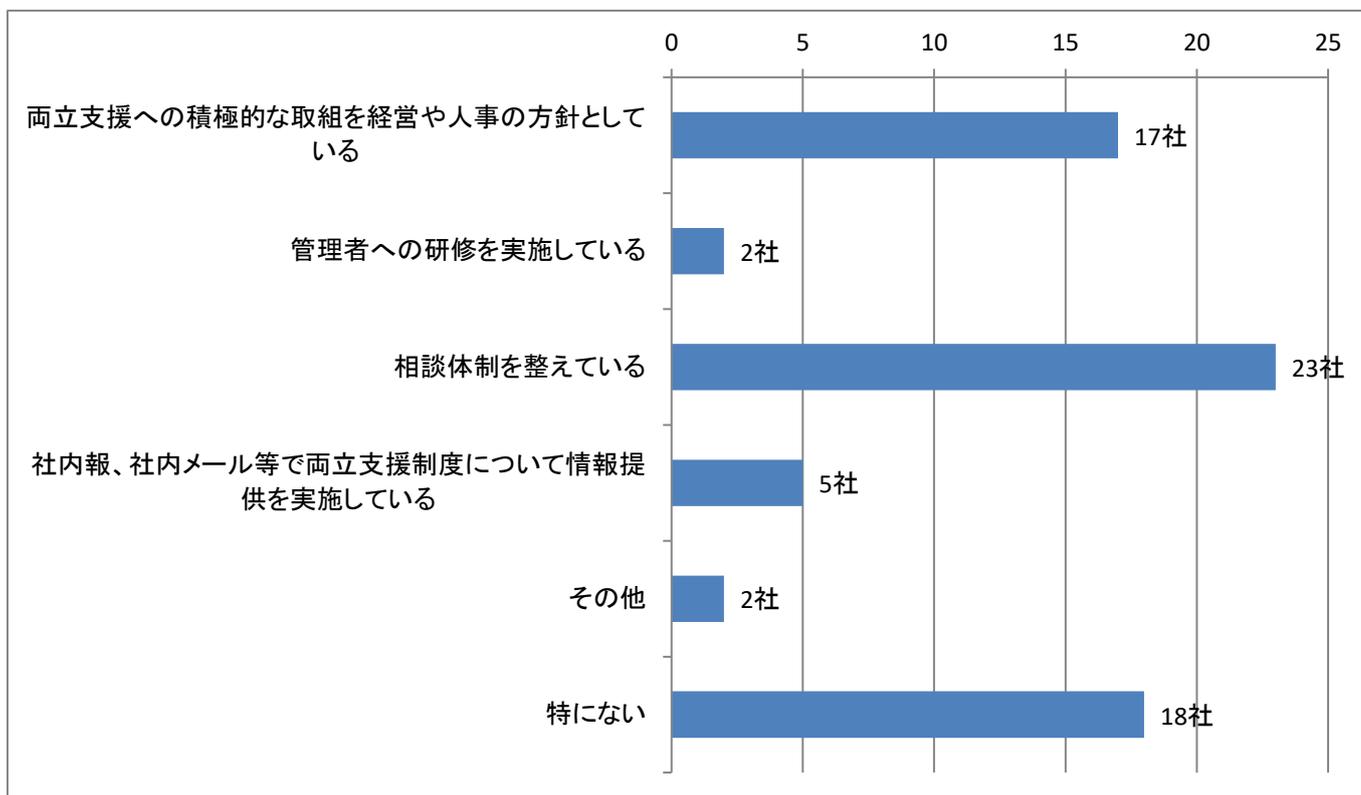


従業員の育児・介護休業に関する問題点について、最も多いものは「休業中の社員の代替社員を確保することが困難であること」が26社。次いで「業務に支障が出てしまうこと」が16社、「休業中の社員が復帰しない可能性やいつ復帰するか分からないという不確実性があること」が7社となっています。

その他の意見

- ・ 休日が多忙な職種ため、休日保育所の開所を希望

問12. 育児や介護を行っている社員が働きやすい環境づくりを行っているか

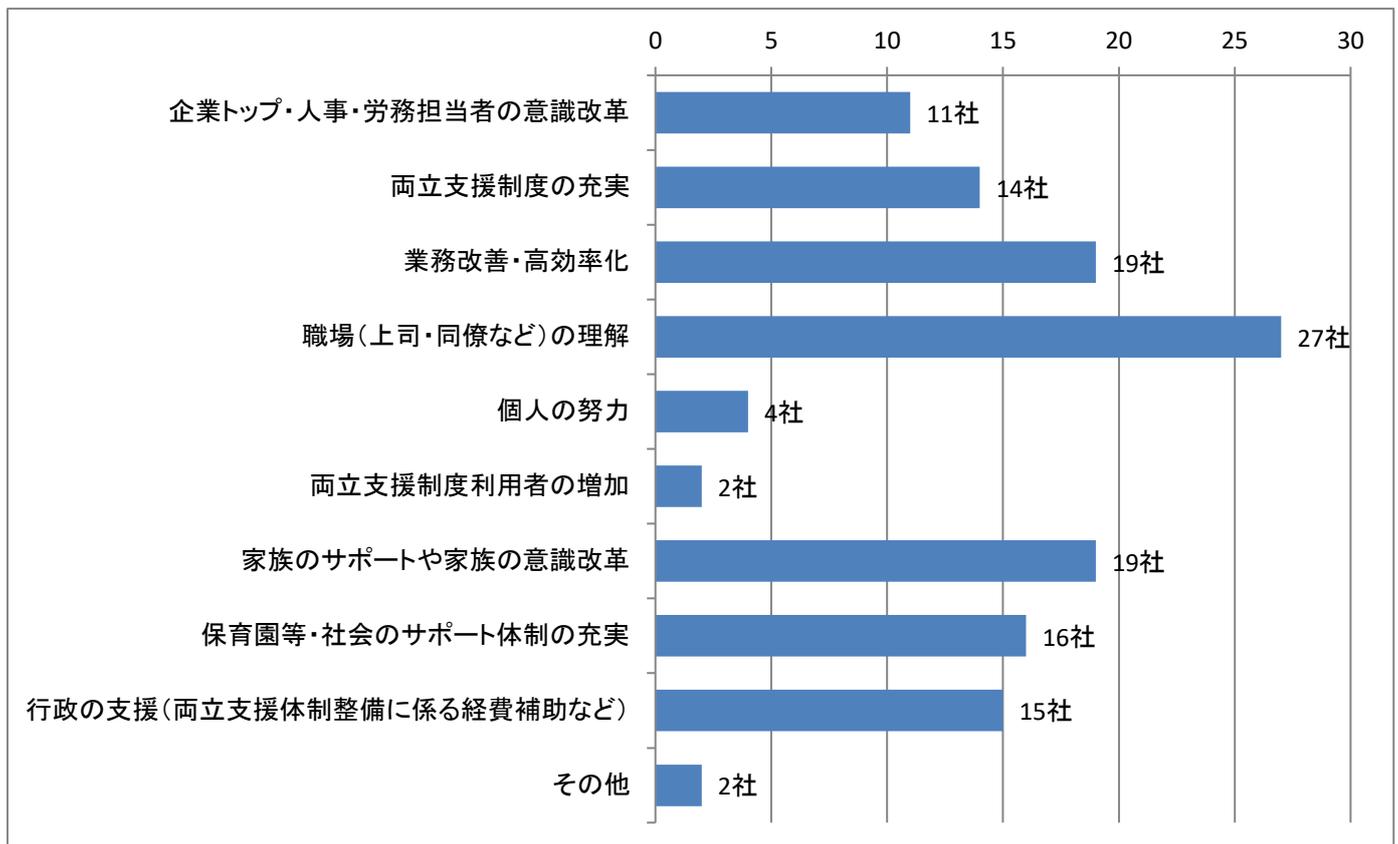


育児や介護を行っている社員が働きやすい環境づくりについて、最も多いのは「相談体制を整えている」で23社。次いで「特になし」が18社、「両立支援への積極的な取組を経営や人事の方針としている」が17社となっています。

その他の意見

- ・短時間勤務/時間帯変更勤務/シフト勤務/週2日ノー残業デー/複数人での業務担当

問13. 働きながら育児や介護を行うために重要なこと



働きながら育児や介護を行うために重要なことについては、最も多いのは「職場(上司・同僚など)の理解」の27社。次いで「業務改善・高効率化」、「家族のサポートや家族の意識改革」が19社となっています。